

令和3年度 農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	栽培技術	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等	「作物」「野菜」「果樹」「草花」（いずれも実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

作物、野菜、果樹、草花などの栽培や生産、利用に関する基礎的、共通的な知識、技術について、座学や実習を通して学習します。また、内容は「栽培環境」が知識習得を重視するのに対して、この科目では実際の技術面を重視します。

2 学習の到達目標

- ・ 農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ・ 科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	園芸植物そのものや、その栽培育成方法、生産基盤である農場の構成や維持管理について興味・関心を持ち、科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や農場の構成や維持管理などについて、科学的考える習慣を身に付け、判断しようとしている。また、これらの諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に解決するとともにまとめることができる。	園芸植物の栽培育成や農場の構成や維持管理などについて、基礎的な技術を身に付け、活用することができる。	園芸植物の栽培育成や農場の構成や維持管理などについて、基礎的な知識を身に付け、農業及び農業生産を科学的に理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートの記述 実習記録帳 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートの記述 実習記録帳 レポート、発表 自己・相互評価 等	学習状況の観察 ノートの記述 実習記録帳 レポート、発表 自己・相互評価 等	学習状況の観察 ノートの記述 実習記録帳 レポート、発表
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	繁殖技術	○種子繁殖技術 種子の分類 発芽と環境 成長と栄養 育苗と環境 用土の種類 ○栄養繁殖技術 栄養体の分類 繁殖技術 生育と環境	○	○	○	○	a:繁殖の理論、技術について、興味関心を持つ。 b:植物にはそれぞれ適した繁殖方法があることを学び、最適な環境について考え、実践できる。 c:繁殖に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を活用できる。 d:種子繁殖、栄養繁殖について理論的に理解している。	授業観察 ノート レポート 実習記録帳 自己・相互評価
2学期	施肥技術	○生長と栄養 ○肥料の種類 ○元肥と追肥 ○養液栽培	○	○	○	○	a:植物の成長に関係する要素の役割や働きに関心を持ち、現状の分析と改善に意欲的に取り組もうとしている。 b:植物の育成に関する要素について、栽培管理上の技術と関連付けて考え判断、表現できる。 c:栽培に関する基礎的な技術を身に付け、技術を活用できる。 d:栽培に関する理論と技術との関係を理解している。	授業観察 ノート レポート 実習記録帳 自己・相互評価
	かん水技術	○成長と水 ○かん水の技術	○	○	○	○		
3学期	農地の構成と改善技術	○測量及び農地の構成要素 ○耕うんと畝たて ○農機具、農業機械の操作	○	○	○	○	a:農場に関心を持ち、改善に意欲を持つ。 植物の成長を制御する技術に興味関心をもち意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ノート レポート 実習記録帳
	整枝・せん定技術	○植物の成長と姿 ○樹形、草勢の調節 ○整枝とせん定 ○摘心と摘蕾	○	○	○	○	b:農場の役割や機能について考えその改善について総合的な判断ができる。 技術が植物の成長に与える効果について理論的に考え、判断して作業ができる。 c:測量機器や農業機械の操作ができる 作物の成長を維持促進させるための技術を身につけている。 d:農場の構成、維持管理について理解している。 植物の成長について総合的に理解している。	発表 自己・相互評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。